

## 第17回世界経済史会議（2015年）の京都開催決定について

南アフリカ Stellenbosch で開催される WEHC 2012 に続いて 2015 年に開催が予定されている WEHC 2015 の開催地が、京都（京都国際会議場）と決定されました。国際経済史協会（IEHA）の開催地コールに対して、日本学術会議 IEHA 分科会は WEHC 2015 組織委員会（National Committee for WEHC 2015、委員長：岡崎哲二）を設置して、京都での開催を提案していました。他に、香港（中国）と La Crosse（アメリカ・ウィスコンシン）が応募し、2011 年 11 月 11 日にミラノで行われた IEHA 理事会で、各開催地代表のプレゼンテーション等に基づいて審査、投票が行われた結果、京都での開催が決定されたものです。社会経済史学会では、7 月に行われた常任理事会での決定に基づき、費用の援助等を通じて WEHC 2015 組織委員会による招致活動の支援を行ってきました。京都での WEHC 2015 が日本、アジアそして世界における経済史研究のいっそうの発展をもたらすことが期待されます。国際交流委員会では WEHC 2015 組織委員会と緊密に連携しながら、随時、準備状況等について会員の皆様にお知らせしていきます。会員の皆様の積極的な参加をお願い致します。

2011 年 11 月 15 日

国際交流委員長・岡崎哲二